

業務提案書評価基準

No	項目	提案内容	審査の視点	配点計算式
1	ホテル	(ホテル名、ランク、設備、アメニティ、安全性、周辺環境等)※位置図、部屋の見取り図	予算上限額内(予算上限額は※4)で仕様書記載の日程のとおり、ホテルの手配ができているか。ホテルの設備、安全性、周辺環境に問題はないか。	下記配点×1 (3点満点)
2	車両借上げ	(座席数、車両の程度等)	バスの座席数、車両の程度等は適切か。	下記配点×1 (3点満点)
3	通訳	(レベル、実績等)	仕様書記載のレベルであるか。過去の実績は豊富か。	下記配点×2 (3点満点)
4	ガイド	(レベル、実績等)	仕様書記載のレベルであるか。過去の実績は豊富か。	下記配点×2 (3点満点)
5	添乗員	(レベル、実績等)	仕様書記載のレベルであるか。過去の実績は豊富か。	下記配点×2 (3点満点)
6	通信運搬等	(発送・收受(日本⇄各訪問先)の体制等)	各訪問先での受取り・発送が確実にできる体制となっているか。	下記配点×1 (3点満点)
7	サポート体制	(各種手配等に係る連絡・調整体制(平日、休日、訪問期間中)、現地での提携業者、緊急時のサポート体制等)	緊急時の手配、サポート体制、バックアップ体制が充実しているか。	下記配点×1 (3点満点)
8	取扱実績	(地方公共団体の議会及び首長等の海外訪問団取扱実績)	過去の取扱実績が豊富か。	下記配点×1 (3点満点)
9	自由提案	(上記の項目以外で、本件業務を実施するに当たり必要と考えられる事項について自由に提案。この場合に見積書に記載した金額とは別に経費を要する場合は、その旨を記載)	本業務を実施するに当たり有用な提案か。	下記配点×1 (3点満点)
10	価格		県との契約部分(別紙見積書の項目2～7、予算上限額は※5)について、最低見積額を提出した事業者に満点(4点)を与え、見積額の低額な事業者の順に配点が高くなるようにする。	

【配点】

3:優れている 2:普通 1:やや劣っている 0:問題あり又は記載なし

- ※1 配点の合計が基準値(24点)以上でない場合、失格とする。
- ※2 サービス・内容点の評価において、委員全員が0点と配点した項目(項目9を除く)がある場合、失格とする。
- ※3 見積額が予算上限額(消費税及び地方消費税の額を含む。)を超える場合、失格とする。
- ※4 別紙見積書の項目1のホテル宿泊料(県との契約部分ではない)の予算上限額は 1,956,820円
- ※5 別紙見積書の項目2～7の県との契約部分における予算上限額は 3,957,570円